

The background features several 3D cubes in blue and orange, some solid and some transparent, arranged in a scattered pattern. The cubes are rendered with soft shadows on the white background.

株主の皆様へ

株式会社 アサツー ディ・ケイ

第57期 中間報告書

平成 23 年 1 月 1 日 ▶ 平成 23 年 6 月 30 日

ADK

ごあいさつ

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

このたびの東日本大震災により被災された皆様には、心よりお見舞い申し上げますとともに、被災地の一日も早い復興をお祈り申し上げます。

当社第57期事業年度第2四半期累計期間（平成23年1月1日から平成23年6月30日まで）を終了いたしましたので、事業の概要をご報告申し上げます。

当期間におけるわが国の経済は、大震災の影響のみならず世界経済の減速の影響を受け大きな痛手を受けましたが、サプライチェーンの回復による生産活動の持ち直し、消費者マインドの改善もあり、回復の兆しも見られました。しかし、電力不足等懸念材料も多く、不安定な状況は続くものと思われます。

当社グループの売上高の90%以上を占める広告業におきましては、震災の影響は当初の予想を下回りましたが、それでも広告費総体の減少は大きく、厳しい状況が続いております。

このような環境にあって、当社グループは売上高こそ計画に達しませんでした。昨年来取り組んでまいりました売上原価の厳格な管理等による売上総利益率の改善と、販売費及び一般管理費の一層の節減が成果を見せ始めてまいりました。

私たち役職員一同は、このような地道な努力の積み重ねこそが業績の回復への道筋と信じ、これからも創業以来の「全員経営」の理念のもと一致団結してこれに取り組んでまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも倍旧のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成23年9月



清水 與二
代表取締役社長

ADKグループの事業概況

当第2四半期連結累計期間における当社グループの売上高は、国内子会社、海外子会社は増収でしたが当社単体が減収となったため、総体として前年実績を下回り1,656億3千8百万円（前年同期比1.7%減）、利益面につきましては、当社単体、国内広告関連子会社、海外子会社とも増益となり、前年実績を上回り、売上総利益は221億1百万円（前年同期比11.4%増）、営業利益は13億7千6百万円（前年同期は14億8千4百万円の損失）でありました。経常利益は、受取配当金7億3千6百万円や持分法による投資利益1億3千7百万円などを計上した結果、25億1千7百万円（前年同期は1億3千1百万円の損失）でありました。

特別損益に関しましては、特別利益7億3千9百万円を計上しましたが、投資有価証券評価損や資産除去債務会計基準の適用により、特別損失13億6千3百万円を計上しました。以上の結果、税金等調整前四半期純利益は18億9千3百万円（前年同期は26億4千3百万円の損失）、四半期純利益は8億7千6百万円（前年同期は18億6千8百万円の損失）でありました。



グループの中核である当社単体の売上高は1,455億9千7百万円（前年同期比3.4%減）、収益性向上に注力した結果、売上総利益は166億2千2百万円（前年同期比12.6%増）、販売費及び一般管理費の圧縮を継続した結果、営業利益は9億3千万円（前年同期は18億円8千1百万円の損失）でありました。

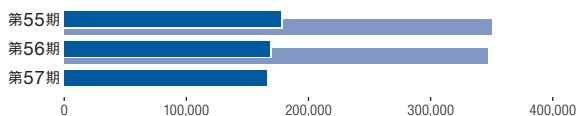
中間基準日にかかる配当金について

当社は配当額の決定にあたって、年間配当総額の目安を連結当期純利益の35%とするとともに、1株当たり年間配当額の下限を20円に設定しております。中間基準日（6月30日）と期末基準日（12月31日）の割り振りとしては、中間基準日にかかる配当においては安定的に10円を原則とし、期末基準日にかかる配当においては10円または年間配当性向が約35%となる額のいずれか高い額としております。第57期事業年度につきましては、平成23年8月10日の取締役会において中間基準日にかかる配当を10円とし、9月12日を支払い開始日とすることを決議いたしました。

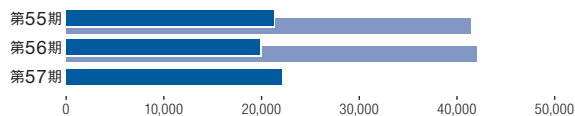
連結決算の概要

■ 第2四半期累計 ■ 通期
(単位: 百万円)

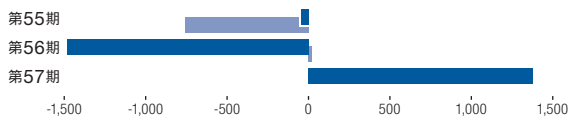
売上高



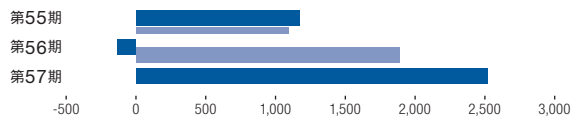
売上総利益



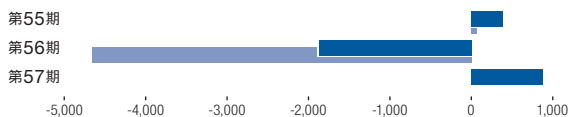
営業利益



経常利益

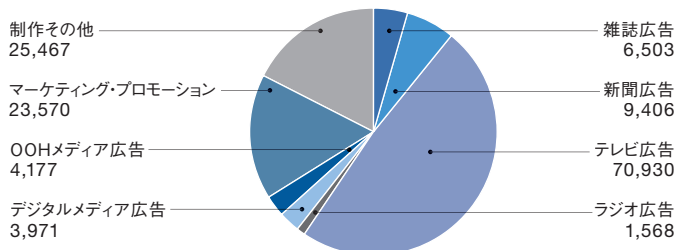


当期純利益



区分別売上高 (単位)

(単位: 百万円)



(注)1. 広告市場の成熟化やメディア環境の多角化に伴い、当社は広告主にクロス・コミュニケーション・プログラムを提供しており、媒体別の売上を厳密に区別することが困難な場合があります。従って、左記の区分別売上は厳密に媒体別の売上を反映していないことがあります。

2. 平成22年第3四半期より区分別売上の集計方法を変更しております。主な変更点は次のとおりです。なお、前年同期比の比率は、前年の売上を新しい基準で分類しなおして計算しております。(1)「セールスプロモーション」を「マーケティング・プロモーション」とし、従来のセールスプロモーションに加え、マーケティング、デジタルソリューション、デジタル制作、博覧会事業、パブリックリレーションズ、コンサルティングを含む分類としました。(2)「デジタルメディア広告」に含まれていたデジタルソリューションと、「制作その他」に含まれていたデジタル制作をそれぞれ分離し、上記(1)のとおり「マーケティング・プロモーション」に分類しました。

3. 百万円未満を切り捨てているため、小計額、合計額は各売上区分の合計と一致しません。

四半期連結貸借対照表の要旨

(単位:百万円)

	当第2四半期 連結会計期間末 (H.23. 6. 30現在)	前第2四半期 連結会計期間末 (H.22. 6. 30現在)	前連結会計年度末 (H.22. 12. 31現在)
〈資産の部〉			
流動資産	119,533	123,601	127,562
現金及び預金	21,276	22,031	21,520
受取手形及び売掛金	76,440	83,571	92,774
有価証券	9,590	6,361	1,436
たな卸資産	9,281	8,811	8,274
その他	3,217	3,155	3,842
貸倒引当金	△ 272	△ 329	△ 286
固定資産	65,805	61,572	66,947
有形固定資産	4,415	3,815	4,093
無形固定資産	1,666	1,406	1,576
投資その他の資産	59,723	56,350	61,277
投資有価証券	51,275	47,348	52,790
その他	10,454	10,926	10,509
貸倒引当金	△ 2,006	△ 1,923	△ 2,022
1 資産合計	185,338	185,173	194,510

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

1

前連結会計年度末に比べ、資産合計は、売上債権の減少などにより、91億7千1百万円少ない、1,853億3千8百万円でありました。

(単位:百万円)

2

前連結会計年度末に比べ、負債合計は、仕入債務の減少などにより、94億6千6百万円少ない、818億7千5百万円でありました。

3

純資産合計は、1,034億6千2百万円、純資産比率は55.8%でありました。なお、自己株式には従業員持株ESO P信託が保有する当社株式392,900株、6億9千8百万円が含まれております。

	当第2四半期 連結会計期間末 (H.23. 6. 30現在)	前第2四半期 連結会計期間末 (H.22. 6. 30現在)	前連結会計年度末 (H.22. 12. 31現在)
〈負債の部〉			
流動負債	74,595	77,719	83,874
支払手形及び買掛金	65,094	68,898	74,358
短期借入金	78	178	84
1年以内返済予定の長期借入金	277	123	278
未払法人税等	256	147	358
引当金	1,546	645	892
その他	7,342	7,725	7,902
固定負債	7,280	4,417	7,466
長期借入金	625	1,089	765
引当金	1,733	2,336	2,551
その他	4,921	991	4,150
2 負債合計	81,875	82,137	91,341
〈純資産の部〉			
株主資本	96,285	98,977	95,793
資本金	37,581	37,581	37,581
資本剰余金	20,023	20,024	20,024
利益剰余金	46,356	49,141	45,906
自己株式	△ 7,676	△ 7,768	△ 7,718
評価・換算差額等	6,217	3,078	6,375
その他有価証券評価差額金	7,429	4,178	7,727
繰延ヘッジ損益	△ 79	△ 25	△ 94
為替換算調整勘定	△ 1,132	△ 1,074	△ 1,256
少数株主持分	959	980	999
3 純資産合計	103,462	103,036	103,168
負債純資産合計	185,338	185,173	194,510

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

四半期連結損益計算書の要旨

(単位:百万円)

	当第2四半期 連結累計期間 (H.23. 1. 1～H.23. 6. 30)	前第2四半期 連結累計期間 (H.22. 1. 1～H.22. 6. 30)	前連結会計年度 (H.22. 1. 1～H.22. 12. 31)
売上高	165,638	168,496	346,565
売上原価	143,536	148,655	304,536
売上総利益	22,101	19,841	42,028
販売費及び一般管理費	20,725	21,326	42,006
営業利益又は営業損失(△)	1,376	△ 1,484	22
営業外収益	1,239	1,484	2,255
営業外費用	97	131	392
経常利益又は経常損失(△)	2,517	△ 131	1,885
特別利益	739	117	133
特別損失	1,363	2,629	6,768
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期(当期)純損失(△)	1,893	△ 2,643	△ 4,748
法人税等	1,036	△ 778	△ 116
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△ 18	2	23
四半期純利益又は四半期(当期)純損失(△)	876	△ 1,868	△ 4,656

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

四半期連結キャッシュ・フロー計算書の要旨

(単位:百万円)

	当第2四半期 連結累計期間 (H.23. 1. 1～H.23. 6. 30)	前第2四半期 連結累計期間 (H.22. 1. 1～H.22. 6. 30)	前連結会計年度 (H.22. 1. 1～H.22. 12. 31)
営業活動によるキャッシュ・フロー	9,030	3,327	△ 221
投資活動によるキャッシュ・フロー	807	3,137	2,298
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 593	△ 532	△ 1,266
現金及び現金同等物に係る換算差額	69	△ 524	△ 745
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	9,314	5,408	65
現金及び現金同等物の期首残高	19,127	18,844	18,844
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	217	217
連結子会社と非連結子会社の合併に伴う 現金及び現金同等物の増加額	48	—	—
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高	28,490	24,471	19,127

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

会社の概況

平成23年6月30日現在

会社の概要

商号……………株式会社アサツ ディーケイ
英文表記……………ASATSU-DK INC.
略称……………ADK
本店所在地……………〒104-8172
東京都中央区築地一丁目13番1号
03-3547-2111 (代表案内)
設立……………昭和31年3月19日
資本金……………375億8,136万円
従業員数……………1,929名(単体)
当社ウェブサイト……………http://www.adk.jp

取締役および監査役

取締役社長(代表取締役)	清水 興 二
取 締 役	菱 山 武 雄
取 締 役	北 村 次 郎
取 締 役	成 松 和 彦
取 締 役	岡 安 治
取 締 役	植 野 伸 一
取 締 役	植 村 好 貴
取 締 役	中 里 宏
取 締 役	小 野 原 裕 昭
取 締 役	野 見 山 宏
取 締 役	加 藤 武
取 締 役	長 沼 孝 一 郎
取 締 役	スチュアート・ニーシュ
監査役(常勤)	境 芳 郎
監査役(常勤)	市 川 亮
監査役(常勤)	太 田 浩 司
監査役	吉 成 昌 之

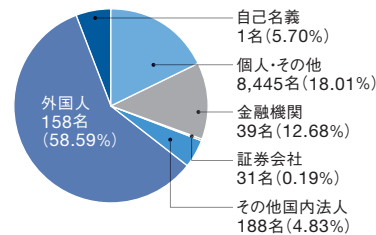
(注)1.平成23年3月30日開催の第56回定時株主総会終結の時をもって取締役 稲垣正夫氏、サー・マーチン・ソレル氏および井上俊行氏、監査役 志形雄三氏および春木英成氏は任期満了により退任いたしました。2.監査役市川亮氏、太田浩司氏および吉成昌之氏は社外監査役であります。

株式の状況

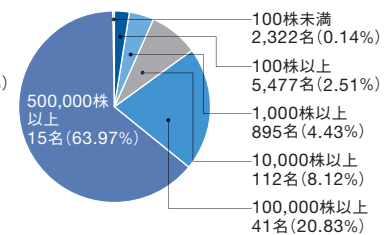
■発行可能株式総数……………206,000,000株
■発行済株式の総数……………45,155,400株
■株主総数……………8,862名

(注)発行済株式の総数には自己株式(2,573,270株)を含んでおります。

保有者別分布(株式数比率)



保有株式数別分布(株式数比率)



大株主の状況

株主名	保有株式数(千株)	持株比率(%)
ダブルユービービー インターナショナル ホールディング ビーヴィー	10,331	24.26
ノーザントラスト カンパニー (エイブイエフシー) サブ アカウント アメリカン クライアント	2,769	6.50
ノーザントラスト カンパニー エイブイエフシー リユーエス タックス エグゼンプテド ペンション ファンズ	1,700	3.99
ザ シルチェスター インターナショナル インベスターズ インターナショナル バリュエ エクイティートラスト	1,672	3.93
稲垣正夫	1,641	3.85
ジェービー モルガン チェース バンク 380055	1,437	3.38
ステート ストリート バンク アンドトラスト カンパニー	1,352	3.18
ステート ストリート バンク アンドトラスト カンパニー 505223	1,287	3.02
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (退職給付信託口・三菱商事株式会社口)	765	1.80
ザ バンク オブ ニューヨークトリシティ ジャスデック アカウント	731	1.72

(注)1.持株比率は、発行済株式の総数(45,155,400株)から自己株式数(2,573,270株)を減じた株式数(42,582,130株)を基準に算出し、小数第3位以下を四捨五入して表示しております。2.当社は、自己株式を2,573,270株(発行済株式総数の5.70%)保有しておりますが、上記の大株主より除外しております。3.記載株式数は千株未満を切り捨てて表示しております。



営業所の状況

営業所名	所在地
本社	東京都中央区
関西支社	大阪市北区
(関西支社)北陸支局	金沢市
中部支社	名古屋市中区
九州支社	福岡市博多区
北海道支社	札幌市中央区

営業所名	所在地
東北支社	仙台市青葉区
(東北支社)北東北支局	盛岡市
新潟支社	新潟市中央区
岡山支社	岡山市北区
(岡山支社)高松支局	高松市

営業所名	所在地
中国支社	広島市中区
(中国支社)愛媛支局	松山市
フィリピン事務所	マニラ
北京事務所	北京
モスクワ事務所	モスクワ

(注)1.平成23年1月1日付をもって、岡山・四国支社を岡山支社に改称しました。2.平成23年1月1日付をもって北陸支社を関西支社に編入し、(関西支社)北陸支局としました。3.平成23年1月1日付をもって愛媛支局を中国支社に編入し、(中国支社)愛媛支局としました。

連結決算対象会社の状況

当社グループの連結対象会社は次のとおりであります。その内訳は連結子会社が24社(無印)であり、持分法適用会社は、関連会社2社(*印)です。

		主な事業内容		会社名
広告業	国内	主な事業内容		株式会社協和企画
		広告代理および広告制作		株式会社ADKインターナショナル 株式会社ADKディアログ
		広告制作		株式会社ADKアーツ 株式会社ボーイズ
		広告代理(インターネット広告媒体)		*デジタル・アドバタイジング・コンソーシアム株式会社
		アニメ制作		株式会社エイケン
	海外	主な事業内容	所在地	会社名
			米国 ニューヨーク	エイディケイアメリカ(ADK America Inc.)
			オランダ アムステルダム	アサツヨーロップホールディング(Asatsu Europe Holding BV) [持株会社] アサツヨーロップ(Asatsu Europe BV)
			ドイツ フランクフルト	アサツドイツ(Asatsu (Deutschland) GmbH)
			中国 広州 香港	*広東広旭广告有限公司(Guangdong Guangxu (ASATSU) Advertising Co., Ltd.) アサツ ディーケイホンコン(ASATSU-DK HONG KONG Ltd.) ディケイアドバタイジング(DK ADVERTISING (HK) Ltd.)
		広告代理および広告制作	上海	旭通世紀(上海)广告有限公司(ASATSU Century (Shanghai) Advertising Co., Ltd.) 上海旭通广告有限公司(Shanghai Asatsu Advertising Co., Ltd.)
			台湾 台北	聯旭國際股份有限公司(UNITED-ASATSU INTERNATIONAL Ltd.) 太一廣告股份有限公司(DIK-OCEAN Advertising Co., Ltd.)
			シンガポール	アサツ ディーケイシンガポール(ASATSU-DK SINGAPORE Pte. Ltd.)
			タイ バンコク	エイディケイタイホールディング(ADK Thai Holding Ltd.) [持株会社] ダイイチキカクタイランド(DAI-ICHI KIKAKU (THAILAND) Co., Ltd.) アズディック(ASDIK Ltd.) アサツタイランド(ASATSU (Thailand) Co., Ltd.)
			マレーシア	アサツ ディーケイマレーシア(ASATSU-DK (Malaysia) Sdn. Bhd.)
その他の事業	主な事業内容		会社名	
	雑誌・書籍の出版・販売		株式会社日本文芸社 株式会社ネオ書房	

(注) 持分法適用会社の決算期変更について
平成23年6月30日現在において当社の持分法適用会社であるデジタル・アドバタイジング・コンソーシアム株式会社は、決算日を従来の11月30日から3月31日に変更しております。この変更に伴い、当第2四半期連結累計期間においては、同社の平成22年12月1日から平成23年6月30日までの7ヵ月間の経営成績を持分法により反映しております。

株主メモ

事業年度	毎年1月1日から12月31日まで
定時株主総会	毎年3月中
1単元の株式数	100株
剰余金配当の基準日	毎年6月30日、12月31日 この他、必要があるときはあらかじめ公告して定めます。
株主総会の基準日	定時株主総会については12月31日といたします。 この他、必要があるときはあらかじめ公告して定めます。
株主名簿管理人	東京都千代田区大手町二丁目6番2号 東京証券代行株式会社
同事務取扱場所	〒100-0004 東京都千代田区大手町二丁目6番2号(日本ビル) 東京証券代行株式会社 本店 お取次は中央三井信託銀行株式会社本店および全国各支店にて行っております。 ウェブサイト http://www.chuomitsui.co.jp
郵便物送付先・連絡先	〒168-8522 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 東京証券代行株式会社 事務センター 電話 0120-49-7009 ウェブサイト http://www.tosyodai.co.jp 電話を利用した「自動音声応答による諸届出用紙のご請求」は次の電話番号までお願いいたします。 0120-16-5805
公告方法	電子公告 ウェブサイト http://www.adk.jp ただし、事故その他のやむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。
株式に関する手続きのご案内	①ご住所等、各種株主様情報の変更にに関する届け出 ②配当金の受取方法のご指定 ③単元未満株式の買取・買増請求 上記項目のお手続きにつきましては、ご保有株式数を一般口座(証券会社に開設されている取引口座)にてご保有の方は、取引口座のある証券会社へ、また、特別口座にてご保有の方は、上記株主名簿管理人東京証券代行株式会社へお問い合わせください。



<http://www.adk.jp>

